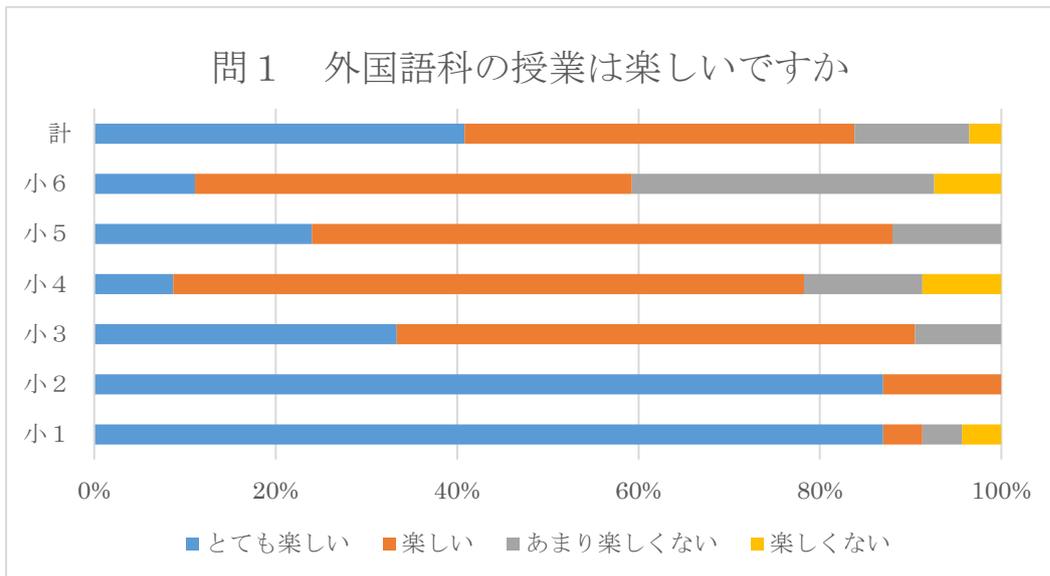


文部科学省教育課程特例校制度（天草市教育委員会外国語科推進事業）による
令和3年度外国語科に関する調査結果

天草市立佐伊津小学校

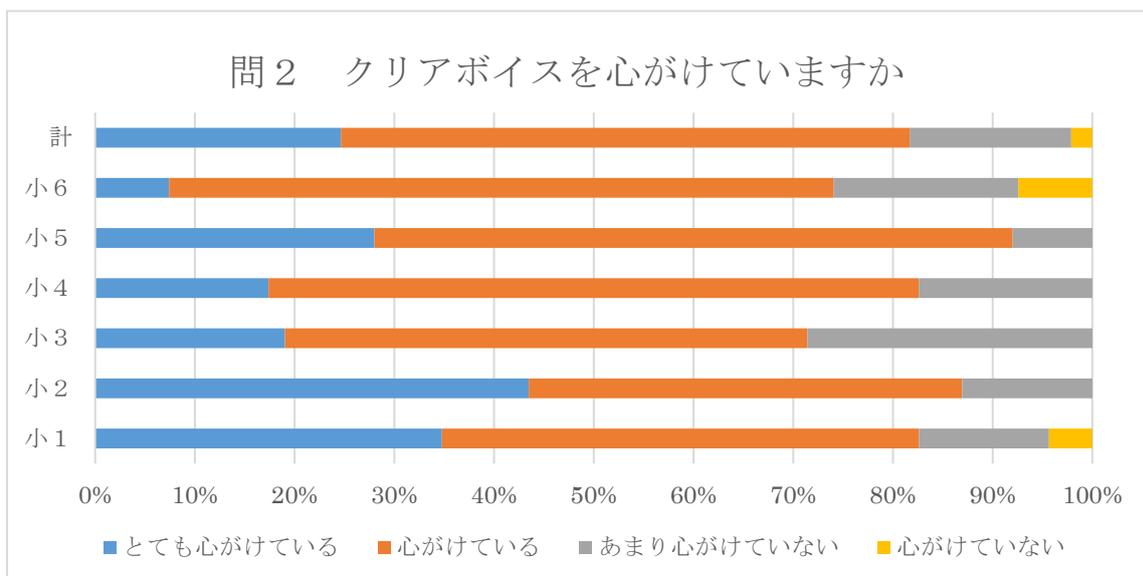
1 児童アンケート結果

(1) 外国語科の授業は楽しいですか。



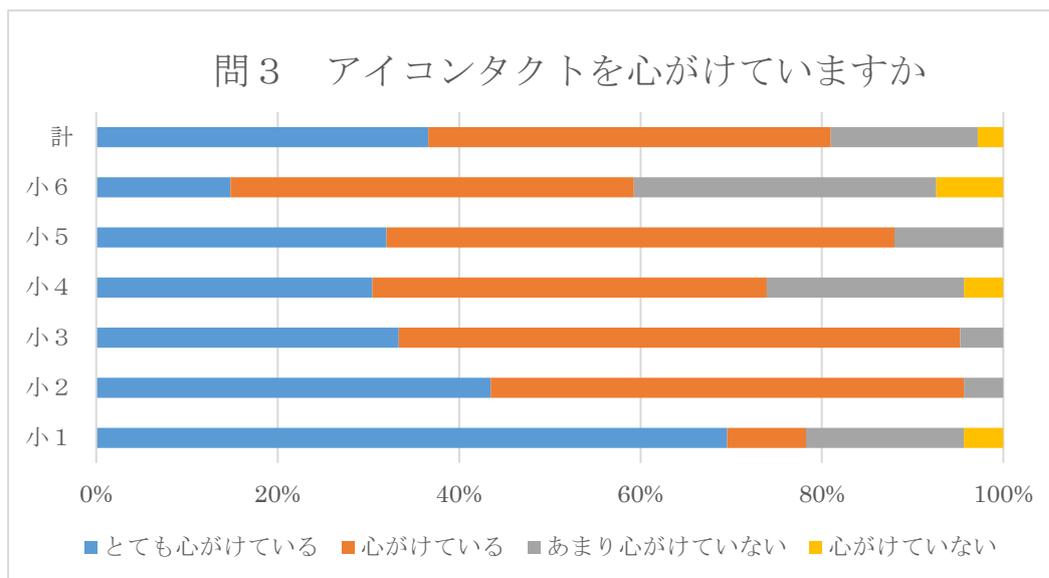
児童全体で、約80%の児童が「とても楽しい」「楽しい」と答えている。しかし、約20%は「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している児童もいる。特に6年生は約40%の児童が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答している。高学年の外国語科の授業において、今後も授業展開や指導の工夫が必要であると思われる。

(2) 外国語科の授業で、相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。(クリアボイス)



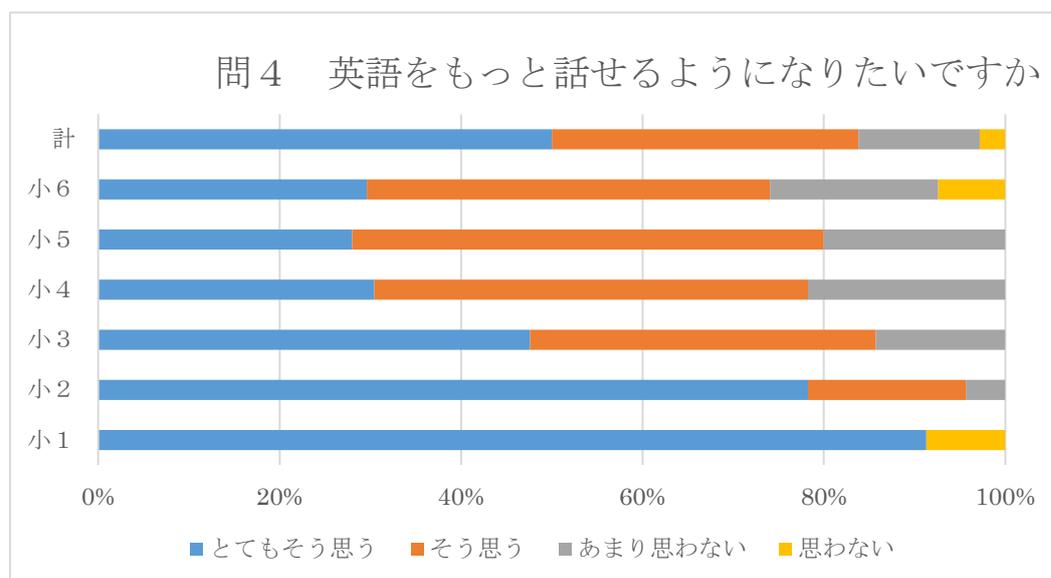
児童全体で、約80%の児童が、「とても心がけている」「心がけている」と回答している。(1)の結果と相関関係が見られる学年がある。

(3) 相手の目を見ながら話すことを心がけていますか。(アイコンタクト)



児童全体で、約80%が「とても心がけている」「心がけている」と回答している。(1)の結果と相関関係が見られる学年(4年・6年)が見受けられる。

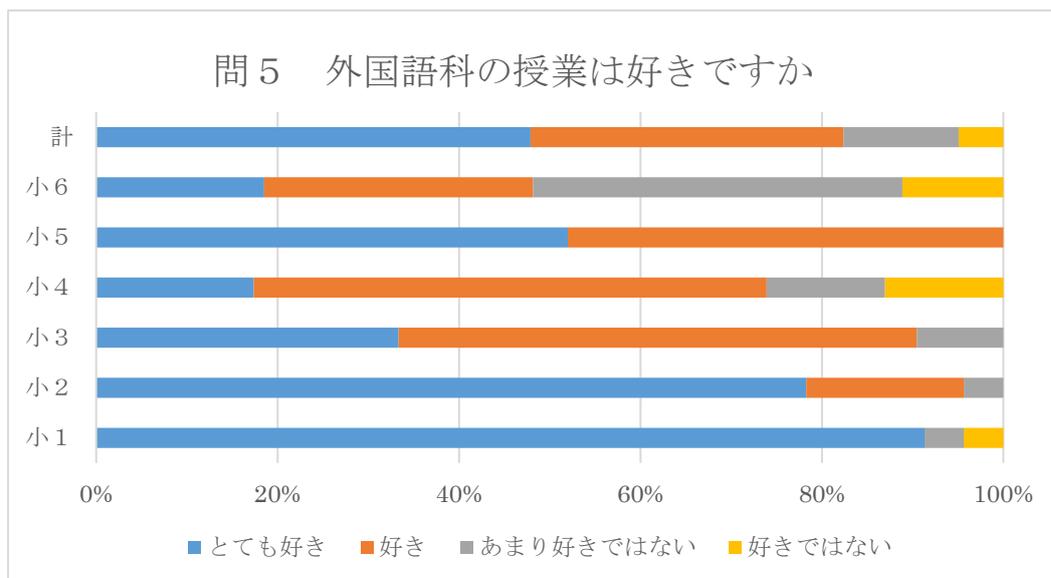
(4) 英語をもっと話せるようになりたいですか。



児童全体で、約80%が「とてもそう思う」「そう思う」と答えている。1年生においては、2極化が見られる。また、6年生においては(1)～(3)の結果と相関が見受けられる。

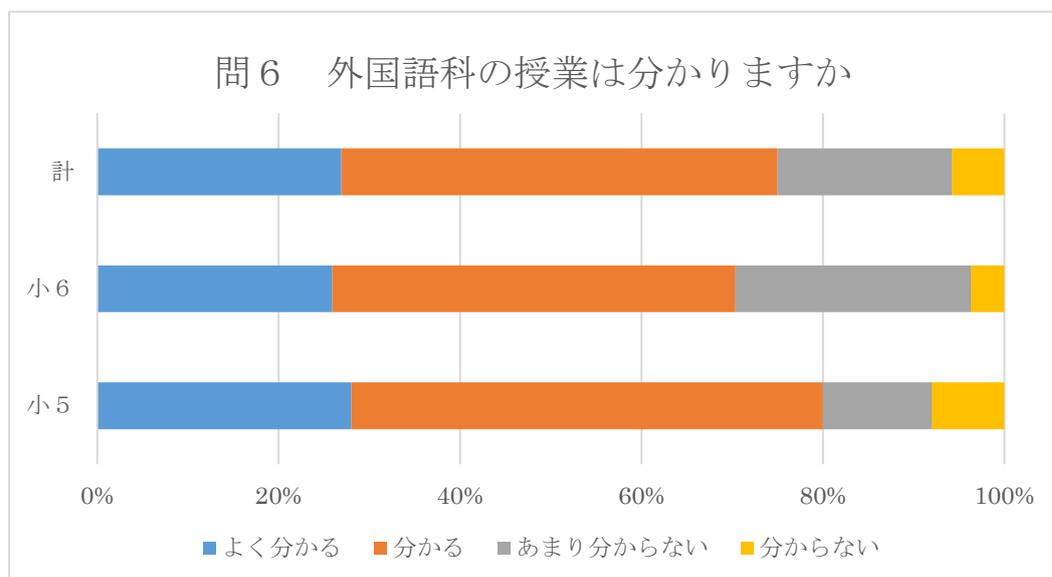
引き続き「分かる、できる授業づくり」や有用感を与えられる取組を目指して取り組む必要がある。

(5) 外国語科の授業は、好きですか。



全体で約80%の児童が「とても好き」「好き」と回答している。ここでも(1)の結果と相関があると思われる学年(4年・6年)が見受けられる。授業が「楽しい」ことが児童の「好き」の判断基準になっていると考えられる。

(6) 外国語科の授業は分かりますか。(5・6年のみ調査)



5・6年生のみの調査である。5年生の約80%、6年生の約70%の児童が、「よく分かる」「分かる」と回答している。児童が、何をもとに「分かる」と答えたのか詳細を探る必要がある。

以上(1)～(6)についてアンケート調査を実施した。児童1人1人についてクロス集計をしていないので断言はできないが、これらに相関関係はあるようである。児童が「楽しい」「好き」「分かる」と実感できる外国語科の授業づくりについて創意工夫が必要となる。

また、中学校へ学びをつなぐためにも、英検等への受検も促していく必要がある。